

令和七年度 育児相談研修会

期 日 令和七年八月一日（金）
会 場 アクトシティ浜松

コングレンスセンター 三一会議室

テーマ

『保育者のコミュニケーションを考える』

～相談に活かせる聴くこと、

伝えることを中心に～』

講 師 東海大学文化社会学部

教授 有沢孝治 氏

浜松市にあるアクトシティ浜松にて育児相談研修会が行われました。県内から一二十名もの申込みがあり、当研修への関心の高さが窺えました。



午前はコミュニケーションの基本を講義していただき、午後は聴くことを中心とした体験的な学びを行いました。

保育の現場では様々な方とコミュニケーションを取るため、場面に応じたコミュニケーションの取り方や対応の仕方、ポイントの講義をしていただきました。『聴く』の内容では相手の話を聴くときに気をつけたいことや、話し手の真意をキャッチするポイントなど実践で使える内容を学ぶことができました。『話す』の内容では質問の仕方によって、相手の方向性を見出したり、ポジティブなイ



メージを持たせることができたりと普段から何気に行っていることでも、具体的に内容を理解することで重要性を改めて学びました。

また保育士等の対人援助職に就く方は相手を思いやる気持ちがとても強い反面、自分へのまなざしが弱い傾向にあるそうです。自分を大切にすることが保育の質を高めることにつながり、コミュニケーションを円滑にしていくために必要だと学ばせていただきました。

グループワークでは、非言語のコミュニケーションや傾聴の仕方を実践を通じて行いました。技法や注意点を意識しながら行うことで、実際の現場をイメージしながら楽しく学ぶことができました。保育現場では、コミュニケーションは大切なスキルなので、明日からの保育につながる有意義な研修となりました。

